

がっこう
学校だより

へんしゅうぶれんらくさき
編集部連絡先

〒257-0025 秦野市落合500
TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118
ホームページ
http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/

ねんかん
「1年間ありがとうございました」

こうちょう さとう まさき
校長 佐藤 雅己

こんねんと のこ
今年度も残すところあとわずかになりました。保護者の皆様、地域・関係機関等の皆様、これまでの学校
かすかす しえん まこと
への数々のご支援、誠にありがとうございました。また、この度の新型コロナウイルスまん延防止のため
けんりつがっこう たいおう
の県立学校の対応につきましては、子どもの命と健康を守る観点から、ご理解とご協力をいただき、
けんりつがっこう たいおう
ありがとうございました。

そつぎょうせいほごしや みなさま
また、卒業生保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、誠にめでとうございます。式は
きぼしゆくしょう おこな
規模縮小で行いますが、教職員一同、卒業生の輝かしい未来に想いを寄せ、心を込めてお祝い
しよせん
させていただき所存です。

さいしゅうごう じんけん か おも わたし こ じんけん そんちよう しどう おこな
さて、最終号は「人権」について書こうと思います。私たちは、子どもの人権を尊重した指導を行
じどう せいと ていねい かか さくせい しょくいんしつどう けいじ
うために、【児童・生徒への丁寧な関わり方のスタンダード】を作成し、職員室等に掲示しています。そ
どうせいかいじよ きほん づ こしょう ねんれい せいべつ ばめん わ じっせん
こには「同性介助を基本とする」、「『さん』付け呼称は年齢や性別、場面を分けず実践する」、「パニック
ことば ひょうげん みとお も こんらん おも つう こんらん
クという言葉で表現するのではなく、見通しの持ちにくさによる混乱や、思いの通じにくさによる混乱と
ひょうげん げんいん ほんにん しえん がわ いしき も
いう表現をすることにより、その原因が本人にあるのではなく、支援する側にあるのだという意識を持
など きょういん きほんてき こころがま か
つ」等、プロ教員としての基本的な心構えが書かれています。

まいつき じこらしょうじほうしかいぎ もと おこな とりくみけつか かくふもん かてい がくふ
毎月の事故不祥事防止会議では、これに基づいて行った取組結果を、各部門・課程・学部が
つきこと じゅんばん はっぴょう ぜんしよくいん きょうゆう せんじつ きょういん
月毎に順番で発表し、全職員で共有しています。先日は「教員が『さん』
づ こしょう つつ こ どうし づ よ あ ばめん おお み
付け呼称を続けていたら、子ども同士が『さん』付けで呼び合う場面が多く見られ
うれ ほくこく ほんこう じねんど しどう
るようになった！」との嬉しい報告がありました。本校では次年度も、「よりよい指導
こ じんけん まち たいばつ ふてきせつしどう こんぜつ とりくみ けいぞく
をとおして、子どもの人権を守り、体罰や不適切指導を根絶する」取組を継続します。



A

ことしも、また出会いと別れの季節がやってきました。A課程では、修学
りょこう ぶんかさい こうとうぶ ちゅうがくぶ こうりゅう かくきょうがく じゅぎょう
旅行、文化祭、E高等部・G中学部との交流、そして各教科の授業など、
いちねんかん
一年間でたくさんの思い出ができました。毎月、教室のカレンダーがめく
たび づきひ た じっかん まいつき きょうしつ
られる度に、月日が経つことを実感し、あっという間に一年の終わりがやっ
てきました。

かてい はる そつぎょうせい めい おく だ しよくいんちどう あか みらい
A課程ではこの春、卒業生1名を送り出します。職員一同、明るい未来
むつ おおえん
に向けて、ずっと応援しています。ファイト～！



B

1年間の終わりにみんなに会えない、心配な日々を迎えてしまいましたが、みんなで写真を見ながら1年間を振り返っています。4月の写真は、今よりも少しずつ幼く感じます。「この時は、こんな様子だったね」「今は、こんなだね」「ずいぶん成長したね」とあちこちで話題になっています。毎日会っていると気づかない成長を改めて確認し、みんなの頑張りや成長をうれしく感じています。今年は、B課程高等部から2名の卒業生を送り出します。おめでとうございます。指導室と引き継ぎをしながら、これからも頑張って楽しく生活してほしいと思いを新たにしました。

保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただきありがとうございました。今後もよろしくお願ひいたします。

C

かもめ学級では小6が7名、中3が4名、それぞれの学校に戻っていきました。入院中は、リハビリ等を行いながら学習に励みました。かもめ学級とすべての卒業生の皆さん、楽しいことだけではなく新型コロナウイルスでの休校を含めてつらい事を乗り越えた皆さんは最高です。

そして、次は卒業後です。卒業は一つの節目ですが自分が変わらなければ節目にはなりません。この卒業を自分自身の本当の節目にしてさらなる飛躍を期待します。

D

弘済学園の園周では、梅の花、河津桜が咲き、一步步春が近づいてきています。今年度は小学部11名、中学部12名のたくさんの卒業生が卒業を迎えます。卒業アルバムを作りながら、学習に向かう真剣な顔や楽しそうな笑顔、美味しかった調理、校外学習…一人ひとりの歩みを懐かしく思い出しました。これからも、この思い出のページが明るく、元気に積み重なっていくように願っています。



E

木の香る新校舎でスタートした4月。そして時代は「平成」から「令和」へ。通学支援ボランティアさんがバス停で見守ってくださったり、農業指導員の方々との出会いがあったり、他部門・課程との交流や共同の学習が始まったり・・・新しいこと尽くしのE高等部の1年があったという間に過ぎました。そして年度末の騒動の中、別れを惜しむ間もなく11名の卒業生が巣立っていきます。子どもたちの明るい未来を「チームE高」一同願っています！

F

3月18日の小 中学部卒業式では、小学部3名、中学部3名が卒業します。在校生の参加も事前の練習もない異例の卒業式になりますが、参加者全員で気持ちを込めて卒業をお祝いし、あたたかな式となるようにしたいと思います。

4月には在校生の皆さんもそれぞれ進級します。来年度も笑顔が輝き、さらなる成長した姿が見られるのを楽しみにしています。

G

G部門の卒業生は小学部6年生の1名です。今年度、秦野養護学校に肢体不自由教育部門が開設されて初めての卒業生です。慣れない環境に戸惑うことも多かったと思いますが、小学部最後の学年として、初めての修学旅行や本校での文化祭などに楽しく参加していました。中学生になっても、自分の力を発揮して、楽しい中学部生活を送ってください。

在校生のみなさんは、4月からそれぞれ進級します。来年度も笑顔あふれる学校生活であることを願っています。